

FRUEHAUF Fan

2007 Autumn Vol.5

[フルハーフ・ファン]

特集:王子陸運株式会社



一部写真と仕様が異なります

日本フルハーフは、10月1日より「バラ積み緩和 鋼材輸送用3軸トレイラ」へ軽量V溝型」の発売を全国斉に開始しました。
フレームは、綿密な構造解析に基づいて新たに設計した最適構造のものを使用しています。こうした新設計などによる軽量化で、積載量はクラス最大級の29・2トンを確保しています。

鋼材輸送用 3軸トレイラ (軽量V溝型) 新登場



また、強化型埋込床フックとステキボックスは標準装備とし、使いやすいさも向上させています。

9月24日、日本フルハーフの環境ロゴが決定しました。
日本フルハーフは、2001年の本社製造部による「SO14001」取得、2002年の環境方針策定をはじめとして、様々な環境活動を積み重ね、製品に反映してきました。そうした取り組みを広くアピールするシンボルとして、ロゴマークを制定しました。

日本フルハーフの 環境ロゴ決定

これは日本フルハーフが今後も環境に配慮した製品づくりを推進する上で、グループ社員の意識を高め、より二層環境に良い商品を生み出していくためのイメージロゴとして使用します。
フルハーフの環境への取り組み活動について今後ともお客様や地域社会の皆様のお目に留まり、ご理解いただきますように励んでまいります。

2007東京トラックショーに 出展します

日本フルハーフは、10月28日から30日までの3日間にわたり東京ビッグサイトで開催される「2007東京トラックショー」に出展いたします。

参考出品として展示するのは、軽量化を果たすとともに庫内容量の拡大をはかり、保冷性能も向上させマイナス20℃輸送を可能にする大型冷凍ウィング「フルハーフウィングエースフローズン」。



フルハーフ スーパーリフト80トレイラ



フルハーフウィングエース フローズン



リーファー エース



EGパン



王子陸運株式会社
代表取締役社長 谷口 哲郎 氏

紙運送用
ハイリフト
ウィングルー
トレイラ
スーパーリフト80

日本フルハーフグループの全国ネットワーク

フルハーフはISO9001/14001の認証を取得し、環境にやさしく、高品質の製品と高信頼のサービスをお届けしています。

営業品目:アルミバン、保冷・冷凍車、ウィングルーバ、各種トレイラ、各種コンテナ、各種部品、修理

本社: 〒243-0281 神奈川県厚木市上依知上/原3034 Tel.046(285)3111(代)
東京事務所: 〒140-0001 東京都品川区北品川1-20-9(ダヴィンチ品川ビル) Tel.03(3474)5720(代)

販売拠点: 北海道 011(723)8750 / 盛岡 019(672)5472 / 仙台 022(783)8831 / 新潟 025(243)0520 / 石川 0299(24)1275 / 北関東 048(661)9051
千葉 043(287)9711 / 東京 03(3863)8011 / 多摩 042(655)5655 / 横浜 045(662)2710 / 厚木 046(294)5010 / 静岡 054(285)3397
北陸 076(232)5588 / 名古屋 052(532)7051 / 大阪 06(6390)8257 / 神戸 078(856)9230 / 岡山 0869(84)4300 / 広島 082(262)2005
西国 087(863)6078 / 九州 092(282)9600 / 南九州 099(284)1634



URL <http://www.fruehauf.co.jp/>

業界 NEWS 適正な事業運営、安全・安心の確保のために 国土交通省がネガティブ情報等検索サイトを開設

国土交通省は10月1日、事業者の過去の処分履歴などを一元的に集約した「国土交通省ネガティブ情報等検索サイト」を開設しました。全国の住まいや交通に関係する事業者について、その名称を入力するだけで過去の処分履歴が一覧検索できる、というシステムです。

同省は、「消費者の「選択行動」に影響を与えるような、事業者に対する新しい「監視の目」をつくり、活用することによって、事業者の適正な事業運営の確保、公正で自由な競争の確保、安全・安心の確保を図ることを目的としている」と、同サイトの

役割を位置づけています。公開対象情報は、①全ての行政処分 ②個別の事業者に対する社会的影響の大きな行政指導 ③道路運送車両法違反に係る刑事告発 ④国土交通省直轄公共工事の指名停止 となっています。



王子製紙株式会社
代表取締役社長 谷口哲郎氏

日本フルハーブにおまかせ!

Request リクエスト



日本フルハーブ株式会社
代表取締役社長 星野健治
日本フルハーブ株式会社
代表取締役社長 星野健治
日本フルハーブ株式会社
代表取締役社長 星野健治
日本フルハーブ株式会社
代表取締役社長 星野健治

レスポンス Response

当社は王子製紙のグループ企業として陸運を担っており、新聞用紙のロール紙をはじめとする、印刷所で使う紙が主な積荷です。お届け先での作業上の制約から平ボディ車も用いていますが、主力はウィング車で、約180台の保有車両のうち6割以上を占めています。帰り荷に雑荷の輸送を請け負っており、その仕事の確保という面でもウィング車は有利ですから、今後も台数を増やす方針です。

屋根が昇降するウィング車は、以前には後端の2点でリフトアップする車両を導入しましたが、さらなる作業効率の向上を求めて4点式でルーフ全体が上がるものを発注しました。また、紙は非常にデリケートで、荷室の床面などのわずかな凹凸に引っかかって傷がつくことがあります。最悪の場合、その傷が元でロール紙が印刷中に切れ、回転機を止めてしまうなど、納品先に大きな迷惑をかけるケースもあるため、日本フルハーブさんにはそうした点にまで配慮を求めました。

- 1 ルーフ全体を上昇させて作業効率を向上させたい。**
 - 2 水密性や油汚れ対策を万全にしてほしい。**
 - 3 荷傷み防止のため荷室内をフラットにほしい。**
 - 4 荷役時の安全性をより高度なものにしたい。**
- ▶ ルーフが800mm上昇可能なハイリフトウィングトレーラ「スーパーリフト80」をご提案しました。
 - ▶ スライド機構などの設計を見直し、水密性も向上しています。
 - ▶ アオリなどに使う鉄は全て埋め込み式に、床面鉄板の溶接部の盛り上がりも削り取りました。
 - ▶ ルーフ昇降装置に2重のインターロックを装備。ウィングとリヤドアを開かないと作動しません。

紙は傷つきやすく、水に弱く、油汚れももつてのほかですから、王子陸運様のオーダーは要求水準が極めて高く、厳しいものです。しかしその高度さ故に、私どもにとって製品改良や品質向上の指標となっています。「スーパーリフト80」は基本仕様でも、かなりの程度までその高度な要求に応えられるものとなりました。ルーフを上昇させるスライド機構は新設計で、耐久性・信頼性に優れた給脂不要の構造を採用。スライド部はまた、水密性の面で弱点となりますが、紙の輸送でも全く支障の無いレベルまで水密性を高めています。荷役安全の面にも、十分に配慮しました。

王子陸運様独自の仕様で特に注意を払ったのが、荷室内のフラット化です。アオリなど荷室側面の鉄は、全て埋め込み式にしました。床面の鉄板の溶接部も、しっかりと削って平板にしています。この経験も、製品品質向上にフィードバックできるでしょう。

王子製紙グループの一員として、他の陸運会社に範を示す存在

王子陸運株式会社は、日本でトップの製紙会社である王子製紙株式会社の子会社で、主に北関東から九州にかけてのエリアでトラック輸送を行っている。主要な積荷はもちろん王子製紙グループの工場で生産される紙だが、帰り荷では電気製品や薬品など、さまざまな雑荷を扱っている。

「王子製紙グループの製品を運ぶ陸運会社は他にも多数ありますが、そのなかで当社は、他社の範となり基準となる姿勢で仕事に取り組んでいます。当社のミスや事故は王子製紙グループ全体のイメージを損ねてしまいますからね」と、代表取締役社長の谷口哲郎氏。安全性優良事業所の認定を受け、環境マネジメントの国際規格ISO14001やグリーン経営認証を取得するなど、安全環境対策にも会社として積極的に取り組んでいるのも、「まず当社からやる」という率先垂範の姿勢からだ。

「ドライバーに対するエコドライブ講習などの教育も実施しています。また、それと並行して、全車両にデジタコを装備するなどハードウェアの充実もはかっています。その目的は、事故防止であり法令遵守であるとともに、ドライバーに家へと帰すためでもあります。『会社とドライバーとその家族』、この三点を常に考えることが、今の厳しい時代を乗り越えるカギだと考えています」(谷口社長)

紙の輸送には、特にドライバーの技量や知識が求められる。ロール紙はひと巻約1トンもある半面、極めてデリケートで扱いには細心の注意が要するからだ。その上でさらに、現代のドライバーには「付加価値が求められる」と、谷口社長。ひとつは輸送品質の向上、そしてもうひとつは、物を運ぶだけではないセールスドライバーの性格とのことだ。



王子陸運株式会社 事務部長 三輪威氏
王子陸運株式会社 事務部長 石上肇氏
王子陸運株式会社 主任調査役 小野正明氏
王子物流株式会社 中部事業部 グループマネージャー 藤田功氏
王子陸運株式会社 中部事業部 春日井営業所所長 高松明氏
王子物流株式会社 中部事業部 春日井営業所配車センター副センター長 實藤秀勲氏
王子陸運株式会社 中部事業部 春日井営業所マネージャー 生利直哉氏

デリケートな紙の輸送に対応したハイリフトウィングルーフ



①ルーフ全体が800mm上昇
ルーフ全体が上昇するため、側面からの荷役についても、作業効率の大幅な向上をもたらします。800mmというリフト量は国内最大級です。

②新設計のスライド機構
新設計のスライド機構は給脂不要で、ポスト部がグリス等で汚れることがありません。耐久性・信頼性の向上もはかっています。



③荷室内をフラット化
アオリなど、荷室側面の鉄は全て埋め込み式にしました。床面に敷いた鉄板の溶接部も、全て削り取って平板にしています。

④2重インターロックを装備
左右のウィングを30cm以上開き、リヤドアを開けないと、ルーフ昇降装置のスイッチが入らない2重のインターロックを装備しました。(リヤドア・インターロックはオプション)